

# 公共交通を補完する移動手段の検討について

## 1. 背景と課題

近年の人口減少の本格化、高齢者の運転免許の返納の増加により、地域公共交通への期待が高まっている中、「自宅から駅やバス停への移動手段」、「駅やバス停から目的地への移動手段」である「公共交通を補完する移動手段」の確保が顕著な課題となりつつあります。

県内においても朝日町や高岡市での自家用有償運送サービス「ノッカル」の運行、富山市駅北エリアの電動小型車両による実証実験、砺波市や氷見市の地域バス実証実験など、様々な取組が行われています。

本市においても、路線バスがなじまない地域でのデマンドタクシーの運行や中心市街地でのシェアサイクル「ちょいのり黒部」を実施し、地域の実情に応じた移動手段の確保に努めているほか、今年度からは、自家用有償運送や中心市街地での電動小型車両導入に向けた研究にも着手しています。

今までであれば、「公共交通を補完する移動」は自身又は家族の運転する自家用車や自転車、徒歩が当たり前でした。

しかしながら、人口減少と高齢化の同時進行により、高齢者だけの世帯が増加し、最寄り駅やバス停まで家族に送迎してもらえない方が出てきている現状を踏まえ、「公共交通を補完する移動手段」を確保し、公共交通の利便性向上に繋げる検討を行う必要があります。

## 2. 検討事項

公共交通では対応し難い、いわゆる「小さな移動」を解決し、高齢者の公共交通利用を促進し、「出かけやすいまちづくり」を実現するため、以下の観点から検討を行います。

### 【検討事項】

- (1) 住民同士が移動を支え合う仕組み作り
- (2) 中心市街地における近距離移動手段の確保
- (3) 既存の公共交通との住み分け

### 【検討の場】 黒部市公共交通戦略推進協議会

地域公共交通計画の基本的な考え方の一つである「輸送資源の総動員」に基づき、「黒部市地域公共交通計画」への移行の「課題の解決に向けた取組の整理」の中で議論し、計画に反映することを考えています。

## 3. 【参考】公共交通を補完する移動手段の主な事例

- (1) ノッカルによる住民同士の移動の支え合い（朝日町全域、高岡市中田地区）
- (2) 富山駅駅北エリア～環状公園を結ぶグリーンスローモビリティ（富山市）
- (3) 地域バス実証実験（砺波市、氷見市）
- (4) 中心市街地でのシェアサイクル（富山市、黒部市）